

図書館協議会 令和7年度第1回定例会 会議録

【日 時】 令和7(2025)年7月10日(木) 午後3時00分～4時45分

【場 所】 中央図書館(3階)研修室1

出席委員 14名

欠席委員 1名

【事務局】 教育長

中央図書館長、副館長

管理係長、総合サービス係長、

希望ヶ丘図書館長、安積図書館長

富久山図書館長

担当職員

【会議の概略】(司会:管理長)

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 委員・職員紹介
- 4 議長・副議長選出

委員の互選により、菊池信太郎委員を議長に、赤沼順子委員を副議長に選出

(郡山女子大学短期大学部地域創成学科の教授1名・学生3名計4名の傍聴希望があり、許可した)

- 5 議事・・・議事進行(菊池議長)

(1)報告事項

(ア)令和6年度事業報告

事務局(副館長)から資料に基づき説明ののち質疑応答。

(イ)(ウ)令和7年度事業計画、報告について

事務局(橋本係長、各地域館長)から利用状況、行事・展示の実績について説明ののち、質疑応答。

(2)協議事項「第五次郡山市読書活動推進計画の策定」について(今期の主題)

(ア)概要について、橋本係長から説明ののち質疑応答

菊池議長:基本的なことについて、これから協議していく。

委員:文学の森との連携は実施しているか?

サービス係長:先方の企画展に併せて、図書館でも関連本の展示を実施している。歴史情報博物館や美術館も同様に実施している。

赤沼副議長:本に触れ親しむ体験がもっと必要ではないか?スマホ検索で満足する保護者が多い。幼児が本に触れあう体験をもっと増やすことが必要。図書館等に足を運ぶ働きかけをして欲しい。

館長:図書館でのおはなし会の参加人数が、コロナの影響で減少したのが戻ってきた。ただし、メンバーが固定化されており、すそ野を広げるPRをしていく必要がある。

委員:総合子育て支援センターへ「おひざにだっこのおはなし会」のPRをして欲しい。また、ど

こでも参加できる体制づくりを。

菊池議長:近年の大学生の様子はどうか？

委員:本を持っている学生は多いが、どこで何を読んでいるかはわからない。

委員:コミュニケーション能力には読解力が必要。スマホより本。本の大切さを親御さんに伝えたい。

委員:今まで学校以外に幼稚園、保育所でも読み聞かせをしてきた。図書館との連携、本との出会いを進めたい。しかし、学校での『朝の読書』が短縮され、国語の授業が削られ、英語や情報教育に置き換えられている。みんなが同じ危機感を持つ必要がある。

委員:放課後児童クラブへは配本があるが、幼稚園・保育所へはどうか？また、おはなし会の開催回数が多いが参加者が少ないので、工作教室等と本を絡めるなどの努力が必要ではないか。

菊池議長:子供の視点での読書活動の推進に期待する。

係長:幼稚園・保育所は対象外だが、「団体貸出」で対応。また、地域図書館では近隣の幼保での読み聞かせを実施している。中央図書館では来館者に声掛けして、おはなし会への参加を促す他、関連行事と合わせるPRを実施している。「子どもの視点による読書活動の推進」については、関係各課との協議で連携を模索している。学校図書館との連携、若い人の視点を重視したい。

委員:土日などショッピングセンターがにぎわっている。広報を見ない人、町内会に入っていない世帯等もあるのでこのような場でもPRしてはどうか？また、人の集まる場所に出前してみても？

委員:広報にSNSを活用してみても？

サービス係長:現在郡山市のLINE、まなびLINEを活用している。

菊池議長:子どもの読書を広げるには、まず親に興味を持ってもらうことが必要だと思う。

委員:中小企業にDXを勧めても来ない。うすい百貨店等、人の集まる場所でやってみても？

委員:子どもの頃学校で読み聞かせをやってもらったのが印象に残っている。今でも読み聞かせはやっていますか？

委員:行っています。

委員:続けてほしいと思う。

(イ)視察研修の実施について

担当から、8月7日(木)に東京子ども図書館及び国立国会国際子ども図書館を視察する旨説明、参加を募った。

6 その他

7 閉会

司会:以上を持ちまして第1回定例会を終了します。次回は10月16日(木)を予定しています。

※閉会后、司書の案内により、委員有志に対しバックヤードツアーを実施した。(16:45了)